

# 平成 30 年度 自己評価報告書

(専門学校等評価基準 Ver.4.0 準拠版)

平成 31 年 3 月 26 日

学校法人福岡医療学院

福岡医療専門学校

# 目 次

教育目標と本年度の重点目標の評価.....	1	5-16 就職等進路.....	29
基準 1 教育理念・目的・育成人材像.....	2	5-17 中途退学への対応.....	30
1-1 理念・目的・育成人材像.....	3	5-18 学生相談.....	31
基準 2 学校運営.....	5	5-19 学生生活.....	32
2-2 運営方針.....	6	5-20 保護者との連携.....	34
2-3 事業計画.....	7	5-21 卒業生・社会人.....	35
2-4 運営組織.....	8	基準 6 教育環境.....	37
2-5 人事・給与制度.....	9	6-22 施設・設備等.....	38
2-6 意思決定システム.....	10	6-23 学外実習、インターンシップ等.....	39
2-7 情報システム.....	11	6-24 防災・安全管理.....	40
基準 3 教育活動.....	12	基準 7 学生の募集と受入れ.....	41
3-8 目標の設定.....	13	7-25 学生募集活動は、適正に行われているか.....	42
3-9 教育方法・評価等.....	15	7-26 入学選考.....	44
3-10 成績評価・単位認定等.....	17	7-27 学納金.....	45
3-11 資格・免許の取得の指導體制.....	19	基準 8 財務.....	46
3-12 教員・教員組織.....	21	8-28 財務基盤.....	47
基準 4 学修成果.....	23	8-29 予算・収支計画.....	48
4-13 就職率.....	24	8-30 監査.....	49
4-14 資格・免許の取得率.....	25	8-31 財務情報の公開.....	50
4-15 卒業生の社会的評価.....	27	基準 9 法令等の遵守.....	51
基準 5 学生支援.....	28	9-32 関係法令、設置基準等の遵守.....	52
		9-33 個人情報保護.....	53
		9-34 学校評価.....	54
		9-35 教育情報の公開.....	55

<b>基準 10</b>	<b>社会貢献・地域貢献</b> .....	<b>56</b>
10-36	社会貢献・地域貢献 .....	57
10-37	ボランティア活動 .....	58

## 教育目標と本年度の重点目標の評価

学校の教育理念・目標	平成 30 年度重点目標	重点目標・計画の達成状況	課題と解決方策
<p>○ 教育理念 親が子に残せる唯一の財産は教育である。</p> <p>○ 目 標 教育基本法及び学校教育法に従い、学校教育を行い、知識・技術・人間性を兼ね備えた人材を育成することを目的とする。</p>	<p>○ 教育活動・学修成果 卒業生の国家資格全員取得はもちろんのこと、知識・技術・人間性を兼ね備えた医療人を育成する。</p> <p>○ 職業実践専門課程 職業実践専門課程を通じたPDCA サイクルを積極的に推進し、教育の質保証・向上に取り組む。</p> <p>○ 専門職大学の設置 福岡専門職大学（仮称、平成 31 年度設置予定）に向けた取り組みを進める。</p>	<p>○ 教育活動・学修成果 国家試験合格率（平成 30 年度） 柔道整復師 100% （65 名受験、65 名合格） はり師 97.4% （39 名受験、38 名合格） きゅう師 97.4% （39 名受験、38 名合格） 理学療法士 100% （53 名受験、53 名合格） 診療放射線技師 98% （49 名受験、48 名合格） 看護師 100% （35 名受験、35 名合格）</p> <p>○ 職業実践専門課程 ・ 教育課程編成委員会を年 2 回の開催 ・ 企業等と連携した授業の実施 ・ FD・SD 研修会・教員研修等の実施 ・ 自己点検・評価、学校関係者評価の実施及びホームページ上の公表</p> <p>○ 専門職大学の設置 専門職大学の設置認可申請を 9 月末に取下げ、平成 31 年度の専門学校の新設募集を 10 月より開始した。</p>	<p>○ 教育活動・学修成果 平成 30 年度国家試験は左記のとおり、全ての学科において全国トップレベルの高い合格率を達成することができた。 来年度も今年度と同等以上の成果を出すためには、今年度以上に不断の努力が必要となる。自己点検・自己評価等を活用しながら、すべての部門において見直しを行いながら、教育の質保証・向上に努めることが求められる。</p> <p>○ 職業実践専門課程 診療放射線科及び看護科に対する文部科学省のフォローアップに加え、実態調査が行われた。職業実践専門課程の認定要件を再確認しながら、さらなる教育の質保証・向上に努める。</p> <p>○ 専門学校と大学化 専門学校の定員変更を行い、地域社会に貢献する医療人の養成をより充実していく。大学の設置計画については見直す方針である。</p>

最終更新日付	平成 31 年 3 月 26 日	記載責任者	滝沢 哲也
--------	------------------	-------	-------

## 基準 1 教育理念・目的・育成人材像

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校の教育理念・目的・育成人材像は、学校案内パンフレットや本校ホームページ等で広く関係者へ周知している。</p> <p>育成人材像に関しては、教育課程編成委員会、学校関係者評価委員会及び次年度教育内容会議をとおして、外部の医療機関と意見交換、情報収集を定期的に行い、次年度の見直しに活用している。</p>	<p>専門職大学の設置認可申請を9月末に取下げ、平成31年度の専門学校の学生募集を10月より開始した。</p>

最終更新日付

平成31年3月26日

記載責任者

滝沢 哲也

## 1-1 理念・目的・育成人材像

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	本校の教育理念、目的、育成人材像を明確に定め、広く社会に公表する方針である。	教育理念、目的、育成人材像を明確に定め、学校案内パンフレット、学生募集要項、本校ホームページ等で公表している。	教育課程編成委員会や学校関係者評価委員会等を通じて得た情報、意見を集約し、育成人材像の見直しを行う。	学校案内パンフレット 学生募集要項 本校ホームページ 学則 シラバス 教育課程編成委員会議事録 学校関係者評価委員会議事録
1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	教育課程編成委員会、次年度教育内容会議等を通じて業界等のニーズを把握し、育成人材像を見直す。	教育課程編成委員会、次年度教育内容会議、学校関係者評価委員会を実施し、意見交換、情報収集を行い人材育成像の見直しに活かしている。	専門分野に関連する業界の人材ニーズは多様化しており、学外実習施設、就職先より多くの情報を取り入れニーズの把握に努める。	教育課程編成委員会議事録 次年度教育内容会議議事録 学校関係者評価委員会議事録 シラバス 本校ホームページ 就職活動報告書 運営会議議事録
1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	知識・技術・人間性を兼ね備えた医療人を育成するために、学科の枠を超え、臨床経験豊富な教員によるセミナーを一般カリキュラム以外で行う。	実践的な臨床力を養うため経験豊富な各学科教員がセミナーを行っている。	職業実践専門課程として、さらなる実践力の向上に努め、実習医療機関を追加していく。	学校案内パンフレット 本校ホームページ 学生要覧 セミナー開催予定表
1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	医療機関等と密接に連携し、実践的な職業教育の質の保証と向上に取り組む。	職業実践専門課程を通じて社会のニーズに沿った実践的なカリキュラム編成を行っている。	FD・SD 研修会を充実させ、教員の資質を向上させる。	学校案内パンフレット 本校ホームページ 教育課程編成委員会議事録 FD・SD 研修会抄録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校の教育理念、・目的・育成人材像は、学校案内パンフレットや本校ホームページに等で広く関係者へ周知している。</p> <p>教育課程編成委員会や次年度教育内容会議等を通じて、関連業界等の人材ニーズを把握し、育成人材像の見直しを行う。</p>	<p>専門職大学設置認可申請を取り下げ、専門学校として社会ニーズに対応した適切な学校運営を目指す。</p>

最終更新日付	平成 31 年 1 月 31 日	記載責任者	小磯 嘉貴
--------	------------------	-------	-------

## 基準 2 学校運営

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>運営方針は運営委員会で審議立案され、理事会及び評議員会の議を経て決定する。決定した運営方針は、月1回、全教職員が参加する教職員会議において理事長から全教職員に直接示達している。教職員会議には、理事及び監事にも参加していただき、学校業務に関する情報提供を充実させる取組みを本年度より開始した。</p> <p>事業計画及び学校運営状況に基づき必要人材を確保し配置している。キャリアアップのため時間短縮希望者の受け入れや、学内FD・SD研修を通じた人材育成を実施している。</p> <p>業務の効率化を図るため、LAN化されたネットワークを整備して、グループウェアを積極的に活用している。使用頻度の高い帳票・書式は雛型文章化して、グループウェア上から活用できるようにしている。教職員会議や各種会議で決定した事項については、議事録をグループウェアに掲示して、教職員がいつでも閲覧できる体制を整えている。</p>	<p>平成32年度より看護科の入学定員を40名から80名に増員することを理事会で決定した。</p> <p>教職員の研究及び指導能力向上を図るため、学内FD・SD研修を年2回行った。</p> <p>3月の新校舎竣工に伴い、Wi-Fi機能を新たに整備して、学内ネットワークの強化を図る。</p>

最終更新日付

平成31年3月29日

記載責任者

滝沢 哲也



## 2-2 運営方針

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	学校会議規程を定め、理念に沿った運営方針を組織として決定する。組織は、理事会、評議員会及び運営委員会の体制とし、決定事項を議事録にまとめ、教職員に周知徹底することを目標とする。	運営委員会を組織し、運営会議及び教職員会議を経て、運営方針の指示伝達を図っている。尚、運営方針は運営委員会で審議され、理事会及び評議員会の議を経て決定している。	運営方針の周知徹底を図るため、月1回行われる教職員会議は、全職員参加としている。また、運営方針、教育理念の理解を深めるために学内FD・SD研修会を実施している。	学校会議規程 運営会議議事録 教職員会議議事録 FD・SD研修会抄録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
運営方針は運営委員会で審議立案され、理事会及び評議員会の議を経て決定している。決定した運営方針は、教職員会議をとおして理事長から全教職員に示達している。	平成32年度より看護科の入学定員を40名から80名に増員することが決定した。

最終更新日付	平成31年1月31日	記載責任者	小磯 嘉貴
--------	------------	-------	-------

## 2-3 事業計画

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	中期計画及び単年度事業計画を定め、適切な学校運営に努める。 各学科、各校務分掌にその業務の進捗状況を把握する。	各学科、各校務分掌が主たる行事を事業計画にまとめ、理事会及び評議員会の承認を得ている。この計画を基に学校運営を行い、定例会議を実施しながら事業計画の進捗を確認している。	平成 31 年度より柔道整復科Ⅲ部の募集を停止し、柔道整復科Ⅰ部及び診療放射線科の入学定員それぞれ 60 名、50 名に削減する。また、平成 32 年度より看護科の入学定員を 80 名に増員する。	中期計画書 事業計画書 学科会議議事録 課内会議議事録 校務分掌表 理事会議事録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
中期計画及び単年度事業計画を定め、適切な学校運営に努めている。理事会及び評議員会の承認を得た事業計画は、定例会議を実施しながら進捗を確認し、適正、適切な学校運営に努めている。	専門学校として事業の多角化を計画している。

最終更新日付	平成 31 年 1 月 31 日	記載責任者	小磯 嘉貴
--------	------------------	-------	-------

## 2-4 運営組織

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	適正、適切な運営を行うため、寄附行為の規定に基づき理事会と評議員会を開催している。	理事及び監事への情報提供のため、月1回の教職員会議に参加していただいている。	学生募集について理事及び監事に情報を提供することが課題である。	法人寄附行為 理事・監事・評議員名簿 理事会議事録 評議員会議事録 教職員会議議事録 組織図
2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	学校運営のための組織及び規程を整備して、適切な学校運営に取り組む。	学校運営組織は、教育体制は5学科、校務分掌は8課体制を整えている。各分掌の役割分担を明確にし、学校運営に関する理念、教育目標の達成への組織体制を構築している。	学内FD・SD研修を取り入れ、教職員の能力向上へ努めている。更なる教職員の業務効率を図るため、外部研修の実施、参加を検討している。	学校会議規程 学校業務規程 校務分掌表 法人寄附行為 FD・SD研修会抄録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>適正、適切な運営を行うため、理事及び監事への情報提供のため、月1回の教職員会議に参加していただいている。</p> <p>学校運営組織は、教育体制は5学科、校務分掌は8課体制を整えており、各学科各分掌の連携が取れる協働体制を整備している。</p>	<p>教職員の能力向上を図るため、学内FD・SD研修を行い、外部研修の実施、参加を検討している。</p>

最終更新日付	平成31年1月31日	記載責任者	小儀 嘉貴
--------	------------	-------	-------

## 2-5 人事・給与制度

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	学校運営状況及び事業計画に基づき、必要人材を確保し配置する。学内FD・SD研修を実施し、教職員の質向上に努める。	本校の給与規程に基づき支給を行っている。校務分掌を定期的に配置換えすることで、分掌を超えた交流を行っている。	キャリアアップや育児等の個々人に沿った柔軟な働き方に対応することが課題である。	勤務規程 給与規程 教職員名簿 本校ホームページ FD・SD研修会抄録 校務分掌表

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校運営状況、事業計画に基づき必要人材を確保し配置している。また、キャリアアップのため時間短縮希望者の受け入れ、学内FD・SD研修における人材育成に努めている。	特になし。

最終更新日付	平成31年1月31日	記載責任者	小儀 嘉貴
--------	------------	-------	-------

## 2-6 意思決定システム

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-6-1 意思決定システムを整備しているか	意思決定の役割分担等を学校会議規程等で明確にして、意思決定を行う。	学校会議規程に基づき、各会議を開催し、意思決定を行っている。決定された内容は議事録にまとめ、教職員会議等で教職員に伝達している。	多様な諸問題に対して迅速な対応ができるよう、サイボウズ（教職員室内ネットワーク）を活用した迅速な意思決定が求められている。	学校会議規程 理事会議事録 運営会議議事録 教務委員会議事録 教職員会議議事録 サイボウズ (教職員室内ネットワーク)

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
意思決定の役割分等を学校会議規程等で明確にして、意思決定を行っている。決定された内容は議事録でまとめ、教職員に伝達されている。	特になし。

最終更新日付	平成 31 年 1 月 31 日	記載責任者	小儀 嘉貴
--------	------------------	-------	-------

## 2-7 情報システム

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-7-1 情報システム化 に取組み、業務の効率化を図っているか	学内ネットワークを整備し、業務の効率化を図る。 コンピューター等使用のルールを定め、適切なメンテナンスを実施し、セキュリティー対策を万全にする。	パソコン (PC) 中心とし LAN 化されたネットワーク内で業務を行っている。また、学内情報管理システムにより円滑に処理されており、導入業者による定期的な保守管理がなされている。	学生情報等管理システムを平成 31 年度中に新たに導入する予定である。	コンピューター使用ルール ウイルス感染等の防止について 個人情報保護規定 サイボウズ (教職員室内ネットワーク)

中項目総括	特記事項 (特徴・特色・特殊な事情等)
業務の効率化を図るため、LAN 化されたネットワークを整備している。パソコン (PC) 等の使用規程を定め、メンテナンス、セキュリティー体制を整備している。また、業務の効率化を図るために、使用頻度の高い帳票・書式は雛型文章化して対応している。	3 月の新校舎竣工に伴い、Wi-Fi 機能を新たに整備する予定である。

最終更新日付	平成 31 年 1 月 31 日	記載責任者	小儀 嘉貴
--------	------------------	-------	-------

## 基準 3 教育活動

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>理念等に沿った教育課程を各学年の教育到達レベルを踏まえて編成・実施するという方針のもと、医療人としての職業教育そして国家資格取得に対して、基礎・専門基礎・専門分野に系統立て、各分野が相互に連携するような教育課程を編成・実施し、各学年の教育到達レベルに応じた科目を配置している。</p> <p>教育課程については、関連業界の要職で構成する教育課程編成委員会と意見交換を行った。そこで得られた意見と学生の現状を考慮して、専任教員が主体となる次年度教育内容会議において、教育課程を検証する体制を整えている。</p> <p>授業評価については、各学期末に、学生による授業アンケートを実施し、その結果を教員にフィードバックしている。</p> <p>学生要覧を全学生に配布し、各学年の始期のオリエンテーションにて、成績評価や単位認定について周知を図っている。成績評価及び修了基準、卒業基準及び既修得単位の認定に関する規定を学生要覧に明記している。既修得単位の認定方法等についても学生要覧に記載するとともに、別途説明会を設けて、社会人の学び直しを推進している。</p> <p>学外での臨床実習が新たに始まる柔道整復科及び鍼灸科は、実習指導者会議を開催し、適正な評価体制を構築する取組みを開始した。</p> <p>教員は、各種研修会やセミナーへの参加、臨床研修などにより、指導力と専門性向上に取り組んでいる。さらに、全教員を対象としたFD・SD研修会を年2回開催し、教職員の指導力と専門性向上に取り組んでいる。</p>	<p>学外での臨床実習を行うにあたり、臨床実習指導者講習会（柔道整復科は10月、鍼灸科は9月）を開催した。</p> <p>クラス担任制と国家試験対策課の設置により、学生一人ひとりの学習フォローや弱点の把握と克服に努めている。保証人に対しても、現在の学習状況の情報を定期的に提供し、協力を得る体制を構築している。</p> <p>国家資格以外にも、職業に関連した資格の取得（リンパ浮腫治療、スポーツ関連、美容関連、第1種放射線取扱主任者等）の機会を提供している。</p>

最終更新日付	平成31年3月29日	記載責任者	滝沢 哲也
--------	------------	-------	-------

## 3-8 目標の設定

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	理念等（理念・目的・育成人材像）に沿って、医療人としての知識、技術、人間性を兼ね備える教育課程を編成・実施する。	医療人の職業教育として必要な科目を配置・実施している。修得科目は基礎・専門基礎・専門分野の3つに分類し、各分野の連携に配慮した体系的な教育課程を編成・実施している。 これらは本校ホームページや学校案内パンフレット等で公表している。	柔道整復科・鍼灸科では2018年度入学生より新しい教育課程を導入した。教育課程編成委員会等の意見を取り入れながら不断の見直しを行う。 理学療法科では2020年度入学生から、カリキュラム改正を実施する。この改正より社会・業界のニーズに対応した科目の追加・変更を検討する。	学生要覧 学校案内パンフレット 本校ホームページ
3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	教育課程編成・実施の方針を学科ごとに定める。そのなかで、修業年限に応じて、各学年の教育到達レベルを設定する。	各学年の教育到達レベルは学科ごとに設定し、それに沿った科目を配置している。科目配置はホームページの「カリキュラム」や、「職業実践専門課程認定後の公表様式（別紙様式4）」にて公表している。	柔道整復科及び鍼灸科は、学外での臨床実習も始まるので、臨床実習の到達目標を明確にするため、臨床実習指導者会議を開催する必要がある。	学則 学生要覧 学校案内パンフレット 本校ホームページ 本校ホームページ（職業実践専門課程の基本情報 様式4） シラバス



中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>理念等に沿った教育課程を各学年の教育到達レベルを踏まえて編成・実施するという方針のもと、医療人としての職業教育そして国家資格取得に対して、基礎・専門基礎・専門分野に系統立て、各分野が相互に連携するような教育課程を編成・実施し、各学年の教育到達レベルに応じた科目を配置している。</p> <p>また、教育課程編成委員会の意見等と取り入れ、社会・業界のニーズに対応した教育課程を編成する。</p> <p>新たに学外の臨床実習が始まる学科については、臨床実習指導者会議を開催し臨床実習の到達目標を明確にしていく。</p>	<p>学外での臨床実習を行うにあたり、臨床実習指導者講習会（柔道整復科は10月、鍼灸科は9月）を開催した。実習指導者の実習方略、フィードバック技法、コーチング、メンタルケア、実習評価等について、ワークショップ形式の講習会を行い、学生受け入れ体制を整備している。</p>

最終更新日付	平成 31 年 1 月 31 日	記載責任者	田淵 弘太郎
--------	------------------	-------	--------

## 3-9 教育方法・評価等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	教育目標・目的に沿った育成人材像を学科ごとに示し、その達成に向けた教育課程を体系的に編成する。	教育目標・目的に沿った育成人材像を学科ごとに示し、その達成に向けた教育課程を編成している。	2020年度入学生から理学療法科の教育課程を改正する。 この改正を機に、実践力と倫理観のある、本校の教育目的・目標により即した教育課程を、教育課程編成委員会や次年度教育内容会議の意見を活かしながら編成・実施していく。	学則 学校会議規程 教育課程編成委員会議事録 次年度教育内容会議議事録 本校ホームページ(職業実践専門課程の基本情報 様式4) シラバス
3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	教育課程編成委員会等により、関連業界(職能団体、学会、企業、卒業生等)から意見を聴取し反映する場を設ける。	教育課程編成委員会の委員には、関連業界等の役職員や有識者が参画し、科目の開発や評価について議論を交わしながら、教育課程の編成や実施に寄与している。 今年度は、教育課程編成委員会を、6月・11月に開催した。聴取した意見は、各学科の専任教員が主体の次年度教育内容会議を通じて、科目内容・指導方法・配当年次等について継続的に検証する体制を整えている。	理学療法科では2020年入学生、診療放射線科では2021年入学生よりカリキュラム改正を行う。このカリキュラム改正に備え、教育課程編成委員会や臨床実習指導者会議により、業界団体等の意見を取り入れながら、準備することが必要である。	学則 学校会議規程 教育課程編成委員会議事録 次年度教育内容会議議事録 本校ホームページ(職業実践専門課程の基本情報 様式4) シラバス

3-9-3 キャリア教育を実施しているか	医療人としての立ち居振る舞いを身につけ、臨床実習をとおして、職業観を育むとともに業界や地域を取り巻く環境の把握に努め、問題解決能力を涵養する。	基礎分野と臨床(臨地)実習を中心にキャリア教育を行っている。基礎分野は接遇の基礎となるコミュニケーション力を涵養する科目を配置し、学年ごとでの臨床(臨地)実習を通じて達成すべきコミュニケーション力や問題解決能力を育成している。	更なるコミュニケーション力や問題解決能力を養うため、コミュニケーションというアクティブラーニング形式での授業を新たに始める。他の科目等と連動して基礎(表現法)、展開(コミュニケーション)、実践(臨床実習)とつなげるようにする。	学則 学校会議規程 教育課程編成委員会議事録 次年度教育内容会議議事録 本校ホームページ(職業実践専門課程の基本情報 様式4) シラバス 連携企業との協定書
3-9-4 授業評価を実施しているか	学生による授業評価から得られる情報を教育体制の見直しに活用する。	各学期の終了時に終講した科目の授業アンケートを学生に実施し、試験内容も含めた、鮮度の高い情報が得られるようにしており、その結果を教員にフィードバックしている。	アンケートの項目や内容について、教育課程編成委員会など外部の意見を取り入れながら見直していく。	学生アンケートの実施資料及び結果

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>教育目標・目的に沿った育成人材像を学科ごとに示し、その達成に向けた教育課程を編成している。教育課程については、関連業界等の要職で構成する教育課程編成委員会と意見交換を行い、その意見と学生の現状をふまえ専任教員が主体の次年度教育内容会議により継続的に検証する体制を整えている。</p> <p>理学療法科では2020年にカリキュラム改正を行う。この改正を機に、実践力と倫理観のある、本校の教育目的・目標により即した教育課程を、教育課程編成委員会や次年度教育内容会議の意見を活かしながら編成・実施していく。</p> <p>キャリア教育についても産学協同で体系的に教育課程に組み込んでいる。</p> <p>授業評価については、各学期で授業アンケートを学生に実施し、その結果を教員にフィードバックしている。</p>	<p>授業科目は臨床経験豊富な専任教員のみならず、「基礎医学分野の大学教授等の講義」や、「臨床の現場に立つ医師による臨床経験を交えた講義」、「連携する企業の役員職員等による実技演習」等を体系的に教育課程に組み込んで、職業教育を推進している。</p>

最終更新日付	平成31年1月31日	記載責任者	田淵 弘太郎
--------	------------	-------	--------

## 3-10 成績評価・単位認定等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	<p>成績評価基準を学則及び履修要項で定め、それに則った成績評価や修了の決定、卒業の認定を行う。</p> <p>また、客観性や統一性を確保するため、成績判定会議を開催する。</p> <p>既修得単位の認定についても学則に明記する。</p>	<p>成績評価及び修了基準、卒業基準、既修得単位の認定は学生要覧に明記している。</p> <p>学生要覧は全学生に配布し、各学年の始期にオリエンテーションにて、成績評価や単位認定についての周知を図っている。</p> <p>全ての科目については定量的な評価を行い、総合評価による順位づけした成績判定資料を作成している。この資料を用いて、成績判定会議を開催して、成績評価や修了の決定、卒業の認定を行い、客観性や統一性の確保に努めている。</p> <p>既修得単位の認定は学生に配布している学生要覧に記載されているが、別途説明会も設けて基準を説明し、学生からの申請に応じて教務委員会に諮っている。</p>	<p>理学療法科では2020年度のカリキュラム改正により、診療参加型による臨床実習を行う必要がある。この、臨床実習の評価法等については、全国統一の評価方法等が検討されており、評価法の見直しが必要である。</p> <p>臨床実習指導者に対し、臨床実習講習会等への参加を促すことで、診療参加型の臨床実習に対する理解を普及させていく。</p> <p>また、臨床実習指導者会議を開催し、評価法等に対する意見を取り入れながら、評価法の見直しを行っていく。</p>	<p>学則 学生要覧 履修要項 成績判定会議議事録 既修得単位の認定資料及び議事録 理学療法士・作業療法士学校養成施設カリキュラム等検討会報告書</p>

<p>3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか</p>	<p>学生の研究発表は指導教員の指導の下で実施する。</p>	<p>学生が発表する機会として、「学会発表」や、臨床(臨地)実習の「実習報告会」等がある。これらは全て指導教員の指導の下で実施している。 その成果については、前者が受賞状況や抄録等による記録として残り、後者が個人の記録として指導要録にも記載される。</p>	<p>症例報告会の形式としてポスターや発表形式など形式を問わず、自らの技術を論理的に発表できるようにする。</p>	<p>学会発表時の抄録 実習報告会の評価表</p>
--	--------------------------------	--	---	-------------------------------

<p>中項目総括</p>	<p>特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)</p>
<p>成績評価基準及び修了基準、卒業基準及び既修得単位の認定は学生要覧に明記している。 学生要覧は全学生に配布し、各学年の始期にオリエンテーションにて、成績評価や単位認定についての周知を図っている。また、成績判定会議を開催して、客観性や統一性の確保に努めている。 既修得単位の認定も学生要覧に記載するとともに、別途説明会を設けて申請に応じて教務委員会に諮っている。 学外での臨床実習が新たに始まる柔道整復科では、実習指導者会議を開催し適正な評価体制を構築する。学生の研究発表は指導教員により管理されているので、その成果も把握している。学会発表が個人の記録として指導要録に残るようにしている。</p>	<p>全学科で単位認定試験の他に中間試験を実施し、その結果を学習指導に活用している。 クラス担任制をとり、学生個々人に目を配るとともに、保証人に対しても、現在の学習状況を把握してもらい、協力してもらおう体制をとっている。</p>

<p>最終更新日付</p>	<p>平成 31 年 1 月 31 日</p>	<p>記載責任者</p>	<p>田淵 弘太郎</p>
---------------	-------------------------	--------------	---------------

## 3-11 資格・免許の取得の指導体制

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	全ての学科において、目標とする国家資格を明確に定める。	<p>学科名が取得を目指す医療系の国家資格となっている。</p> <p>取得を目指す資格やその業務内容、進路については、学校案内パンフレットや本校ホームページ等で示している。</p>	<p>柔道整復科では2020年より国家試験出題基準が改訂される。問題数や出題範囲に変更があるため適切な対策を講じていく。</p> <p>2021年度の国家試験からは、柔道整復科、鍼灸科の出題基準が新カリキュラムに対応したものへと更に変更となるため、対策を検討する必要がある。</p>	<p>学則 履修要項 学校案内パンフレット 本校ホームページ 学生募集要項</p>
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	<p>資格取得のため、体系化された教育課程を編成・実施している。</p> <p>必要に応じて、補講や補習を実施して学力向上を目指す指導体制を構築する。</p>	<p>クラス担任制の下、科目担当教員とクラス担任の連携により、授業内容の進捗状況を確認し、学生一人ひとりにきめ細やかな指導ができる体制を整えている。また、定期試験の結果等をふまえて教育課程外での指導体制（補講や補習）を構築している。指導方法は、学年や学科、学期等によって異なり、定期試験等の成績判定会議にて方針を決めている。</p> <p>資格試験が不合格者だった者には授業や補習に参加できる再チャレンジ制度がある。</p>	<p>柔道整復科は、2019年度より国家試験出題基準が変わり、必修問題の問題数が30問から50問となる。出題範囲、問題数が変わるため、適切な国家試験対策を実施していく。</p>	<p>学校案内パンフレット 本校ホームページ 学則</p>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>全ての学科において、目標とする資格は明確であり、学科名が取得を目指す医療系の国家資格となっている。各学年での指導体制はもちろんのこと、国家試験不合格者への指導体制も整っている。</p> <p>科目担当教員とクラス担任の連携により、授業内容の補習を行うことで授業内容の理解促進に努めている。</p> <p>柔道整復科では2020年と2022年に国家試験出題基準の変更、鍼灸科は2022年に国家試験出題基準の変更があるため、それに備える必要がある。</p>	<p>クラス担任制と国家試験対策課の設置により、学生一人ひとりの学習フローや弱点の把握と克服に努めている。</p> <p>国家資格以外にも、職業に関連した資格の取得（リンパ浮腫治療、スポーツ関連、美容関連、第1種放射線取扱主任者等）の機会を提供している。</p>

最終更新日付	平成31年1月31日	記載責任者	田淵 弘太郎
--------	------------	-------	--------

## 3-12 教員・教員組織

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	全ての学科において、国家資格に関する厚生労働省令の指定基準を満たす教員を確保する。	<p>学科ごとに厚生労働省令の指定基準を満たす教員を配置している。</p> <p>将来の教員候補者が附属臨床施設で医療技術者としての研さんを積めるような研修制度がある。</p> <p>一人あたりの授業時数を考慮し、一週間のうち一日は研修日に充てられるような配慮をしている。</p>	理学療法科では 2020 年度、診療放射線科では 2021 年度よりカリキュラム改正を行う。この改正により追加される新しい科目や内容に精通した教員を登用する。	医療六法 平成 30 年度 研修等の実績及び計画 クラス担当表
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	教員の教授力と専門性が向上するような取組みを行う。	<p>各種研修会への参加や、学内での FD・SD 研修会、各学科での勉強会等をとおして指導力及び資質の向上に努めている。</p> <p>各学科の勉強会については、他学科の教員にも案内し自由に参加できるようにしている。</p> <p>臨床研修日を設けて、実務に対する専門性を確保している。</p> <p>研究活動や各職域の認定資格研修といった教員のキャリア開発への支援を行っている。</p>	教員の資質向上のため、研究する環境の整備や、大学院等での学位取得に配慮した勤務体系を構築していく。	FD・SD 研修会抄録 各科勉強会報告書 平成 30 年度 研修等の実績及び計画



3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	教員組織における業務分担や責任体制を明確にする。	学科ごとに担当副校長、学科長、学年主任、クラス担任が任命されており、学科ごとに実施している週一回の各学科会議や勉強会の際に教員間の連携・協力体制や授業内容・教育方法の改善を図っている。	学生への支援の在り方として、担任制を敷いている。	クラス担当表 校務分掌表
------------------------	--------------------------	--	--------------------------	-----------------

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>全ての学科において、厚生労働省令の基準を満たした教員を基準数以上に配置している。また、将来の教員候補者の臨床実習施設での研修制度がある。</p> <p>教員は、各種研修会やセミナーへの参加、臨床研修により、教員の指導力と専門性向上に取り組んでいる。さらに、臨床研修日を設けて、実務に対する専門性を確保している。</p> <p>会議や勉強会等で教員間の意思疎通を密に連携・協力体制を構築し、授業内容・教育方法の改善を図っている。</p> <p>また、学生の学習面・生活面などの支援として担任制をとっているが、担任の情報を学科で共有することで、学科全体で学生を支援していく体制づくりに取り組んでいく。</p>	<p>全教員を対象としたFD・SD研修会を年2回開催し、教員の資質向上を図っている。</p>

最終更新日付	平成31年1月31日	記載責任者	田淵 弘太郎
--------	------------	-------	--------

## 基準 4 学修成果

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>求人数は、全科において卒業生実数を上回っており、就職課を中心とした活動の成果は維持されている。今後は、就職情報の数だけでなく、より多くの学生が就職先に対して満足できるよう、情報の質の向上と、就職先との良好な関係を築くことに力を入れていきたい。</p> <p>就職希望者に対する就職実績は、全学科において 100%である。今後も外部実習、教員による就職先訪問による情報収集を継続していき、学生の目標に沿った支援体制ができるよう努めていく。</p> <p>国家試験の難易度が年々上がってきているが、本校の国家試験合格率は全 5 学科ともに全国トップクラスを維持している。各科内だけでなく、科を超えて学校全体で協力し合った結果である。但し、全員合格とはならなかった点は反省すべき点である。最上級生に対しては、必修問題対策、臨床症例問題対策などの従来フォローが最重要ではあるが、基本的知識の習得、弱点科目の指導などきめ細かい指導を充実させていく。また、下級生に対しては「基礎医学力」の育成を徹底し、早い段階での資格取得に向けた意識をつけさせること強化していく。</p> <p>卒業生の社会的評価や活躍は、学生募集活動や就職先拡大にもつながる。校友会だけに依存するのではなく、各教員が積極的に関係団体等と関係し、研修会、勉強会などを通じて現況把握に努めていく。また、SNS などを活用し、情報を発信しつつ、情報収集も行っていく。校友会中心に学校全体で協力して卒業生名簿の拡充と見直しを行う。</p> <p>卒業生からの勉強会や研修会などで学校施設の貸出依頼は増加している。積極的に対応して、教員も参加することで繋がりを深めていきたい。</p>	<p>次年度より、柔道整復科及び鍼灸科において学外実習が開始する。学生の就職先活動にも結び付けることができるようにしていきたい。</p> <p>柔道整復師国家試験は、国家試験出題基準の改訂が行われ、2020 年 3 月と 2022 年 3 月の 2 段階で内容が変更される予定である。</p> <p>Facebook、Twitter 及び Instagram 等の SNS を利用し、卒業生との交流システムを構築していくことが求められている。</p>

最終更新日付

平成 31 年 3 月 29 日

記載責任者

滝沢 哲也

## 4-13 就職率

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-13 就職率の向上が図られているか	一人ひとりの自己実現を目指すことを方針とする。在学中の就職支援だけでなく、入学前の職業理解や卒業後のキャリアアップ支援も行う。学生個々の適性、希望に沿えるよう、また、就職後の活躍を支援できるように活動していく。	<p>本年度より、各科最上級生の担任を中心として就職課を再編成し、最上級生に対して求人情報の掲示・閲覧・個別相談を行っている。</p> <p>柔道整復科と鍼灸科の2年生次のインターシップも順調で、早期の職業理解やインターシップ先への就職実績もみられた。次年度からは学外実習に変わるが継続して、実習先との関係を深めていく。</p> <p>就職説明会実施などを計画しており、更なる就職率向上を図る。</p> <p>在学中にも臨床実習をとおして早い段階で職業観の確立を目指している。</p>	<p>本年度も求人数は卒業生の実数を上回っており、就職率も高い。</p> <p>例年5月頃にみられる早期離職者の再就職先相談もほとんどなかった。</p> <p>病院などの医療機関の採用活動は早期化している。情報入手のために教員による訪問などが必要となる一方、学生の希望に沿った情報の提供と確実な資格取得に向けた学力指導が必要となる。</p> <p>柔道整復科、鍼灸科も学外の実習が始まるため、さらに実習先企業などとの親交を深め、就職率向上に繋げていく。</p>	<p>学校案内パンフレット 求人情報閲覧用資料 就職先・求人先訪問データ 卒業生の就職者データ(数、率) 就職活動報告書 臨床実習I(2年生)記録 インターシップ評価表 インターシップ報告書</p>

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>求人数は、全科において卒業生実数を上回っており、就職課を中心とした活動の成果は維持されている。今後は、就職情報の数だけでなく、より多くの学生が就職先に対して満足できるよう、情報の質の向上と、就職先との良好な関係を築くことに力を入れていきたい。就職希望者に対する就職実績は、全学科において100%であり、今後も学外実習、教員による就職先訪問による情報収集を継続していき、学生の目標に沿った支援体制ができるよう努めていく。</p>	<p>次年度より、柔道整復科、鍼灸科でもカリキュラム改正により学外実習が開始されるため、就職率向上に貢献できるようつなげる。</p>

最終更新日付

平成31年2月12日

記載責任者

石橋 大輔

## 4-14 資格・免許の取得率

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-14 資格・免許取得率の向上が図られているか	<p>国家試験対策課を設け、模擬試験や補習を行い、全学科ともに国家資格を全員取得する。</p> <p>全入学者の一人でも多くに希望の資格を取得させ、知識と技術を身につけ、人間性豊かな医療人を養成する。</p>	<p>前年度国家試験内容、国家試験不合格者の分析を行い、資格取得に向けた学力向上のため日々全学科で意見を交換しながら対策講座を行っている。</p> <p>最上級生に対しては、数多くの国家試験に準じた試験を行い、学生の理解度を確認しながら内容、効率などより良い対策講座ができるように、都度検討している。また、学生にも分野点を公表し弱点把握をさせ、自己学習のアドバイスを担任が個別に指導している。</p>	<p>最上級生のフォローアップ体制については個々人にきめ細かい対応ができるよう拡充を図っているが、効率化、内容共、更に質を上げていきたい。</p> <p>国家試験は年々難易度が上がってきており、出題基準の改訂なども行われている。直近の柔道整復師国家試験出題基準への対応は学生に不利にならぬよう行っていく。</p> <p>下級生に対しても、入学前のサポートや、1年次からのフォローアップセミナーなどによる徹底した「基礎医学力」の育成を行い、「応用力」、「臨床実践力」に繋げていき、資格取得への知識と意識へ繋げていく。</p>	<p>学校案内パンフレット            国家試験合格者状況表            本校ホームページ            セミナー実施計画表            月行事計画表</p>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>国家試験の難易度が年々上がってきているが、本校の国家試験合格率は全5学科ともに全国トップクラスを維持している。各科内だけでなく、科を超えて学校全体で協力し合った結果である。但し、全員合格とはならなかった点は反省すべき点である。最上級生に対しては、必修問題対策、臨床症例問題対策などの従来フォローが最重要ではあるが、基本的知識の習得、弱点科目の指導などきめ細かい指導を充実させていく。また、下級生に対しては「基礎医学力」の育成を徹底し、早い段階での資格取得に向けた意識をつけさせること強化していく。</p>	<p>柔道整復師国家試験は、国家試験出題基準の改訂が行われ、2020年3月と2022年3月の2段階で内容が変更される予定である。</p>

最終更新日付	平成31年2月12日	記載責任者	石橋 大輔
--------	------------	-------	-------

## 4-15 卒業生の社会的評価

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-15 卒業生の社会的評価を把握しているか	開校 20 年を迎え、卒業した資格取得者は 4,000 人を超えている。卒業生の活躍は、学校の評価や、学生募集、就職先紹介につながると考え、校友会を組織して、卒業生の活躍を把握していく。	今年度も、卒業生間や卒業生と在校生の親睦とキャリアアップを目的に校友会を 2 回（6 月、11 月）実施した。 卒業生主催セミナーや、在校生も参加できる勉強会への学校施設の提供数も増加している。	卒業生の数も増え、連絡疎遠先に対する現況等の確認については依然として進んでいない。校友会に参加する同窓生等を通じて把握に努めていくとともに、校友会名簿の見直しが必要である。 卒業生からの学校施設の貸出依頼は年々増加しているので積極的に対応していく。	校友会名簿 学校案内パンフレット 本校ホームページ 就職先訪問報告書 施設利用スケジュール表 施設利用願 校友会活動報告

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業生の社会的評価や活躍は、学生募集活動や就職先拡大にもつながる。校友会だけに依存するのではなく、各教員が積極的に関係団体等と関係し、研修会、勉強会などを通じて現況把握に努めていく。また、SNS などを活用し、情報を発信しつつ、情報収集も行っていく。校友会中心に学校全体で協力して卒業生名簿の拡充と見直しを行う。 卒業生からの学校施設の貸出依頼は増加している。積極的に対応、教員も参加し、繋がりを深めていきたい。	Facebook、Twitter、Instagram 等の SNS を利用し、卒業生との交流システムを構築していく。

最終更新日付	平成 31 年 2 月 12 日	記載責任者	石橋 大輔
--------	------------------	-------	-------

## 基準5 学生支援

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>就職率 100%を目標としている。全学科に就職課員を配置し、クラス担任と連携のもと、就職活動相談や模擬面接を実施している。就職活動支援を専門とする外部講師によるセミナーを実施し学生の就職支援ならびに教員による就職指導の基盤づくりを次年度より行うことを立案した。</p> <p>クラス担任による学生の出席状況や学習状況等の把握を毎日行う。また、必要に応じ保護者と問題を共有した上で、適宜、二者面談や保護者を含めた三者面談を実施し面談記録として残している。カウンセリングルームを複数設置して、学生相談に日々対応している。実習中の相談は学校の携帯電話を担当が常に携帯し、相談に対応できる体制を整える。</p> <p>日本学生支援機構の奨学金とは別に本校独自の授業料減免を行っている。今年度より、本校独自の「社会人学び直し支援」として社会人入学生に対する特待制度を開始した。</p> <p>学生寮に関しては提携寮を設置し、入学前の宿泊体験を受け付けることで遠方からの就学不安の低減に努めている。</p> <p>課外活動として、各種救護活動をはじめ本年度から福岡マラソン救護ボランティアにも参加し、有資格者が活動する現場を学ぶ機会を増やして、学生の職業理解につなげている。</p> <p>年2回の校友会を開催し、卒業生に対するキャリアアップ支援及び就職相談を実施している。</p>	<p>本校へ寄せられた就職求人倍率は、柔道整復科 31 倍、鍼灸科 43 倍、理学療法科 70 倍、診療放射線科 12.3 倍、看護科 260.3 倍であった。</p> <p>全国的に奨学金の返還滞納問題がみられる。貸与と同時に卒業後の返還に関しても在学中に十分理解させる必要がある。</p>

最終更新日付

平成 31 年 3 月 26 日

記載責任者

滝沢 哲也

## 5-16 就職等進路

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	<p>国家試験全員合格及び就職率 100%を目標とする。</p> <p>全学科に就職課員を配置し、クラス担任との連携のもと、学生の希望進路へのサポートを行う。</p>	<p>全学科に就職課員を配置し、担任と連携のもと、求人情報の掲示や就職活動の個別相談、模擬面接を実施している。また、就職活動（履歴書の記入、面接対応等）に関する映像教材も常備し提供している。</p> <p>面接対策として、過去の学生の就職試験報告書を基に、試験形態や面接における質疑項目をデータとしてまとめ、試験対策に活かしている。</p> <p>その他、学内において企業による就職説明会を開催している。</p>	<p>普遍的なマナーや履歴書の記載方法等は各教員において指導可能である。しかし、社会変化（求められる人材の変化等）への対応については、支援の限界があると推察される。その解決方法として、次年度は就職活動支援を専門とする外部講師によるセミナーを実施し、学生の就職支援ならびに教員による就職指導の基盤づくりを行う。</p>	<p>組織図</p> <p>学校案内パンフレット</p> <p>就職試験報告書</p> <p>就職試験内容記録</p> <p>就職説明会案内</p>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>就職率 100%を目標としている。全学科に就職課員を配置し、担任と連携のもと、就職活動相談や模擬面接を実施している。</p> <p>就職試験の面接対策として、過去の学生の就職試験報告書を基に、試験形態や面接における質疑項目をデータとしてまとめ、試験対策に活かしている。</p> <p>また、学内において企業による就職説明会も開催している。</p> <p>次年度は、就職活動支援を専門とする外部講師によるセミナーを実施し、学生の就職支援ならびに教員による就職指導の基盤づくりを行う。</p>	<p>本校へ寄せられた就職求人の倍率は、柔道整復科 31 倍、鍼灸科 43 倍、理学療法科 70 倍、診療放射線科 12.3 倍、看護科 260.3 倍であった。</p>

最終更新日付	平成 31 年 3 月 26 日	記載責任者	當眞 裕樹
--------	------------------	-------	-------



## 5-17 中途退学への対応

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-17-1 退学率の低減が図られているか	<p>退学率の低減を図るため、担任制を通じ早期の問題把握に努める。</p> <p>担任と保護者の連携により、学生の学習環境（成績不振等）や生活環境（出席状況等）を整え、問題解決に適切に対応する。</p>	<p>クラス担任による学生の出席状況や学習状況等の把握を毎日行っている。</p> <p>状況が思わしくない学生は保護者と問題を共有した上で、適宜二者面談や保護者を含めた三者面談を実施し面談記録として残している。</p> <p>サポートが必要と考えられる学生は学科で毎週行われている会議において情報を共有している。さらに、全学的に問題の解決が必要な場合は、毎月の教職員会議において解決案を共有し早期解決へ取り組んでいる。</p>	<p>退学理由は様々である。日常の学習環境や生活環境に関するアプローチとして、クラスに複数担任を配置し、問題の把握及び解決に向け取り組んでいく。</p> <p>1年次の退学は職業について当初抱いていたイメージとのギャップが退学理由の1つとしても考えられる為、引き続き臨床現場の見学実習等を取り入れて解消にあたる。</p> <p>また、奨学金の使用や附属臨床施設の使用により、経済的不安あるいは心身の問題についても対応を図る。</p>	<p>出席簿 組織図 本校ホームページ 各科内会議議事録 教職員会議議事録 学生面談記録 学生個人連絡票</p>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>クラス担任による学生の出席状況や学習状況等の把握を毎日行っている。また、必要に応じ保護者と問題を共有した上で、適宜、二者面談や保護者を含めた三者面談を実施し面談記録として残している。</p> <p>退学理由は様々である為、問題の早期把握及び解決に向け取り組んでいる。1年次の退学については職業については入学当初抱いていたイメージとのギャップが退学理由の1つとしても考えられる為、引き続き、臨床現場の見学実習等を取り入れて解消にあたる。</p>	特になし。

最終更新日付	平成31年2月8日	記載責任者	当真 裕樹
--------	-----------	-------	-------

## 5-18 学生相談

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	<p>学生の相談に対応するためのカウンセリングルームの設置を行う。</p> <p>複数担任制を取り入れ、学生が1人で問題を抱え込むことが無いように、相談体制を整える。</p> <p>その他、附属のクリニックと連携し、専門の医師に相談できる体制を整える。</p>	<p>カウンセリングルームを複数設置し活用している。</p> <p>学生が不安を抱えた場合の相談は主に担任が対応し面談記録を残している。成績不振、欠席・遅刻が多い学生は面談を行い、早期解決を図っている。</p> <p>実習中の相談は学校の携帯電話を担任が常に携帯し、相談に対応できる体制を整えている。</p>	<p>実習時は学内よりも、多様な場面に接する機会が多く、そうした場合の適応に不安を抱える学生が見受けられる。</p> <p>過去に発生した問題で共通する事例や、予想される不安要素については、各科で事前に整理し日頃から問題発生防止及び問題解決への取組みを進めていく。</p>	<p>校舎の各室の用途および面積一覧表</p> <p>本校ホームページ</p> <p>組織図</p> <p>学生面談記録</p>
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	<p>各種相談対応の教職員を配置し、受け入れ時の支援体制を整備する。</p>	<p>本年度留学生の受け入れはなかったが、今後、入学があった場合には積極的に対応していく。</p>	<p>留学生の語学レベルに応じた支援体制を整備し、受け入れに備える。</p>	<p>学生個人連絡票</p>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>カウンセリングルームを複数設置しており、学生相談に対応している。成績不振、欠席・遅刻が多い学生は面談を行い、早期解決を図っている。</p> <p>実習中の相談は学校の携帯電話を担任が常に携帯し、相談に対応できる体制を整えている。</p> <p>特に実習時に予想される不安要素については、各科で事前に対応策を整理し、過去の事例等から問題解決への取組みを進めていく。</p>	<p>実習中の相談については、実習先の違いにより相談内容も多岐にわたる為、担任の負担が大きくなることが懸念される。</p>

最終更新日付

平成31年2月8日

記載責任者

当真 裕樹

## 5-19 学生生活

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	学生が安心して学習できるように、学内外の経済的サポート体制を整える。	経済的支援として日本学生支援機構の奨学金制度を整備している。また、本校独自の授業料減免や、学科により専門実践教育訓練給付金制度の対象としている。 奨学金について災害時や臨時採用に関しても担任による学生伝達及び学内掲示を行い、特別な事情にも遅滞なく連絡を行える体制を整えている。	経済的支援として学内・学外の奨学金の利用が考えられる。在学中の支援とともに、卒業後の返済についての見通しも踏まえ、計画的に利用することにも理解を促す必要がある。	本校ホームページ 奨学金説明会実施要項 学生連絡網 厚生労働省ホームページ
5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	定期健康診断を全学生実施する。 附属クリニックとの連携体制を整備する。	年1回全学生を対象に附属クリニックにおいて健康診断を実施している。さらに、附属の整骨院、鍼灸院を構え、必要に応じて受診できる体制を整えている。学生見舞金制度も整備しており、日頃から健康に関心を持てるよう取り組んでいる。 また、インフルエンザ予防の為のワクチン接種も附属クリニックにおいて実施している。	インフルエンザが流行する時期は各科の国家試験前の時期と重なる。 感染防止策（手指の消毒・ワクチン接種等）や啓蒙活動を行い、感染防止及び被害抑制を図る。	健康管理規程 見舞金申請書 組織図 学生要覧 インフルエンザ予防接種実施要項

5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	遠隔地から就学する学生が安心して学習に取り組む環境を確保する。	本校との提携寮を設置している。オープンキャンパス時には寮案内を実施し、入学前の宿泊の体験も受け付けることで遠方からの就学不安の低減に努めている。 就学後も必要に応じ寮の管理会社と連携を図り学生の生活支援体制を構築している。	寮の利用により、食事の心配もなく、一人暮らしよりも規則的な生活習慣が確立しやすい。 引き続き、寮の管理会社と連携を図りながら、生活環境を安定させ、学習に専念できる環境づくりに取り組んでいく。	本校ホームページ 学生寮パンフレット 体験宿泊申込書類
5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	学生生活の充実の為に課外活動に関する体制づくりや、将来への職業理解に繋がるような情報提供を行い支援する。	様々な課外活動を実施している。部活動では活動の助成金制度をとり入れ、活動支援を行っている。また、各種救護活動や本年度から福岡マラソン救護ボランティアにも参加し有資格者が活動する現場を学ぶ機会を得た。	課外活動の環境や機会を設けているが、参加する学生に偏りがみられる。特に救護等の活動は、将来への職業理解にも繋がる為、幅広く周知できるように案内を行っていく。	救護活動実施報告書 本校ホームページ 学生要覧 福岡マラソン救護ボランティア報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>日本学生支援機構の奨学金とは別に本校独自の授業料減免を行っている。また、奨学金等の経済的支援策について、災害時などの臨時採用に関しても担任による学生伝達及び学内掲示により、特別な事情にも遅滞なく連絡を行える体制を整えている。</p> <p>学生寮に関しては提携寮を設置し、入学前の宿泊体験も受け付けることで遠方からの就学不安の低減に努めている。</p> <p>課外活動として各種救護活動をはじめ本年度から福岡マラソン救護ボランティアにも参加し有資格者が活動する現場を学ぶ機会を得て、職業理解にもつなげている。</p>	<p>全国的に奨学金の返還滞納問題がみられる。貸与と同時に卒業後の返還に関しても十分理解させた上で有効に活用させる。</p>

最終更新日付	平成 31 年 2 月 8 日	記載責任者	當眞 裕樹
--------	-----------------	-------	-------

## 5-20 保護者との連携

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-20-14 保護者との連携体制を構築しているか	<p>学生の学習状況、出席状況等に関する問題を早期に発見し、保護者と情報の共有を図る。</p> <p>災害時の緊急連絡体制を整備する。</p>	<p>欠席、遅刻が気になる学生については、保護者へ連絡し早期解決に取り組んでいる。また、必要に応じ保護者を含めた面談を実施している。</p> <p>学生への諸事連絡体制として、年度初めに学生個人連絡票と連絡網を作成し運用している。</p>	<p>保護者を含めた面談が、遠方等の理由により実施できないケースがある。その際は、学生との面談内容を書面で保護者に伝達し、確認をしていただくことで解決にあたる。</p> <p>学校から保護者への情報が一方通行にならないよう、保護者からの意見の記入をいただき返信いただくことで、相互の情報共有を図る。</p>	<p>本校ホームページ</p> <p>学生面談記録</p> <p>学生個人連絡票</p> <p>学生連絡網</p>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>欠席、遅刻が気になる学生に対し、保護者へ連絡し早期解決に取り組んでいる。また、必要に応じ保護者を含めた面談を実施している。書面での連絡については学校から保護者への情報が一方通行にならないよう、保護者からの意見の記入をいただき返信いただくことで、相互の情報共有を図る。</p> <p>学生への諸事連絡体制として、年度初めに学生個人連絡票と連絡網を作成し運用している。</p>	<p>特になし。</p>

最終更新日付	平成31年2月8日	記載責任者	當眞 裕樹
--------	-----------	-------	-------

## 5-21 卒業生・社会人

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	卒業以降にも学ぶ機会や交流の機会を増やすことを目的として、「校友会」を組織し、卒業生への支援を積極的に行う。	年に2回の校友会を開催し、特別講演によるキャリアアップ支援及び就職相談を実施している。また、就職先訪問による卒業生へのフォローアップを行っている。	本校からの案内物が卒業生に届かない場合がある。転居した場合の連絡体制の説明を在学中から行っていく。	本校ホームページ 校友会実施報告 校友会実施要項 就職先訪問報告書
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	教育課程編成委員会を年2回実施し、教育内容に対する問題点を抽出し、改善していく。	教育課程編成委員会における意見を活用し、内容の見直しや学生のニーズを反映させる教育プログラムを作成している。	教育課程編成委員会において提案された意見や職業教育に対する要望を活かし、常に学業と現場がリンクできる様、学内での情報共有とプログラムの実施を進めていく。	教育課程編成委員会議事録 学校案内パンフレット 本校ホームページ
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	社会人の就学を支援する為学内施設の利用時間に配慮する。 進路相談においても、担任及び就職課員を中心とした就職支援を行う。	オープンキャンパスを夜間にも開催し、社会人が本校を知る機会の確保に努めている。 本校独自の「社会人学び直し支援」として入学生に対する特待制度を定めた。 また、本校教員における各種セミナーを実施し、専攻科以外の他領域の学習の機会も提供できるように整備している。	就業経験後の学び直しとして入学した学生と高校卒業後に入学してきた学生とのモチベーションには差が生まれてしまう場合がみられる。 職業理解が深まることで、モチベーションの差は改善されると考えられる為、常に将来への職業観を展望させた授業展開が求められる。	学校案内パンフレット 本校ホームページ 学生募集要項 セミナー予定表

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>年に2回の校友会を開催し、特別講演によるキャリアアップ支援及び就職相談を実施している。また教育課程編成委員会における意見を活用し、内容の見直しや学生のニーズを反映させる教育プログラムを作成している。</p> <p>新卒高校生だけでなく社会人への配慮として、オープンキャンパスを夜間も開催する等、社会人が本校を知る機会の確保に努めている。</p> <p>本校独自の「社会人学び直し支援」として入学生に対する特待制度を定めた。</p>	<p>柔道整復科の臨床実習指導者講習会が本年度開催された。実習先との更なる連携を図っていく。</p>

最終更新日付	平成31年2月8日	記載責任者	当真 裕樹
--------	-----------	-------	-------

# 基準 6 教育環境

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>施設・設備は設置基準、関係法令に十分対応しており、教育環境の整備に万全を期す方針である。</p> <p>MRI や CT などの医療機器を活用し、学科の垣根を越えた多種多様な医学教育を実施することにより、学生の実践的かつ専門的な能力を養うことを目標にしている。今後も各学科の教育目標に対応できるように計画的に設備・備品を追加する。</p> <p>消防計画を策定し、組織的に対応することを方針としている。平成 31 年 3 月の新校舎竣工に伴い、消防計画の見直しを行う。</p> <p>学内における安全管理体制では、24 時間体制のセキュリティーサービスを警備会社に委託している。事故防止についてマニュアルを整備し、安全管理体制の維持向上に努めている。</p>	<p>最新の ICT 環境を整えた新校舎（新 3 号館）が平成 31 年 3 月竣工する。各学科に必要な教育用具や図書館システムを整備し、教育環境の充実を図る。</p>

最終更新日付	平成 31 年 3 月 29 日	記載責任者	滝沢 哲也
--------	------------------	-------	-------



## 6-22 施設・設備等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	<p>施設・設備は設置基準、関係法令に基づき整備する。</p> <p>臨床実習施設にある MRI や CT などの医療機器を活用し、実践的かつ専門的な能力を養う。</p> <p>最新の設備を整えた新校舎が竣工し、教育環境の充実を図る。</p>	<p>学科ごとに、臨床現場で使用する機器・教育用具を実習室・実技室に備え、必要に応じて整備、改善している。</p> <p>学校の施設・設備を利用し、他学科の学生でも自由に受講できる多種多様なセミナーを開催している。</p> <p>図書室の新校舎への移転に伴い、図書を整備し、蔵書の充実を図る。</p>	各学科の教育目標に対応できるように計画的に設備・備品を追加する。	<p>校舎の各室の用途および面積一覧表</p> <p>機械器具・標本及び模型の目録</p> <p>教育用機器備品チェック表</p> <p>図書目録</p> <p>セミナー実施計画表</p>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>施設・設備は設置基準、関係法令に十分対応しており、教育環境の整備に万全を期す方針である。</p> <p>MRI や CT などの医療機器を活用し、学生の実践的かつ専門的な能力を養うことを目標に学科の垣根を越えた多種多様な医学教育を実施している。今後も各学科の教育目標に対応できるように計画的に設備・備品を追加する。</p>	最新の設備を整えた新校舎の竣工に伴い、各学科に必要な教育用具や図書を整備し、教育環境の充実を図る。

最終更新日付	平成 31 年 2 月 5 日	記載責任者	富永 忠雅
--------	-----------------	-------	-------

## 6-23 学外実習、インターンシップ等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	<p>学外実習等は、各学科の教育目標、育成人材像の達成に向けた教育計画に基づき実施する。</p> <p>外部の実習施設・医療機関と連携を図り、実践的な職業教育を行う方針である。また、グローバル社会に対応すべく海外研修を実施する。</p>	<p>来年度から柔道整復科及び鍼灸科は、学外臨床実習を実施する。</p> <p>学外実習が義務付けられている学科では、指導者会議を開催し、実習先の指導者と連携した臨床実習体制を構築している。</p> <p>海外研修は、来年度から従来の台湾研修、ハワイ研修に加え、オーストラリア研修でホームステイを実施する。</p>	<p>実践的な職業教育の質向上を目指し、今後も実習受け入れ施設の開拓を進めていく必要がある。</p> <p>来年度から学外臨床実習を実施する学科は、実習指導計画を策定し、臨床実習体制を構築する必要がある。</p> <p>国際社会のグローバル化に向け、海外の医療機関との交流の展開が課題である。</p>	<p>学則</p> <p>履修要項</p> <p>学校パンフレット</p> <p>本校ホームページ</p> <p>臨床実習マニュアル</p> <p>台湾研修資料</p> <p>ハワイ研修資料</p> <p>オーストラリア研修企画書</p>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学外実習等は、学内で習得した知識・技術を実践的に学ぶ機会となっている。実践的な職業教育の質向上を目指し、実習受け入れ施設の開拓を進めていく。来年度から学外臨床実習を実施する学科は、実習指導計画を策定し、臨床実習体制を構築する。</p> <p>海外研修は、来年度からオーストラリア研修でホームステイを実施する。</p>	<p>特になし。</p>

最終更新日付	平成31年2月5日	記載責任者	富永 忠雅
--------	-----------	-------	-------

## 6-24 防災・安全管理

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	消防計画を策定し、組織的に対応することを方針としている。	消防計画に基づき、施設・設備の点検、年2回の防災訓練、学生に対しての救急講習を実施している。 経年劣化した設備を改修する等、必要に応じて適切に対応している。	新校舎完成に伴い、消防計画の見直しを検討する必要がある。 危機管理については、地震などの事象別対応マニュアルの作成を検討する必要がある。	消防計画 総合訓練任務分担表 総合訓練実施報告書 消防用設備等点検結果報告書 新3号館建設関連資料
6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	校内の各フロアに防犯カメラを設置して事故防止・防犯に努める。また、セキュリティーサービスを警備会社に委託して安全管理体制を整備する。 校内で怪我人や急病人が出た場合を想定し、対応マニュアルを作成・運用する。	マニュアルを整備し、安全管理体制の維持向上に努めている。	部外者が自由に校内に入ることができる場合もあるので、防犯の強化に努める。 夜間や休日等、教職員の人員が少ない場合の安全管理体制が課題である。	怪我人・病人対応マニュアル 学生生徒災害傷害保険加入証 学校賠償責任保険加入証 医療分野学生生徒賠償責任保険加入証

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
消防計画を策定し、組織的に対応することを基本方針としているが、新校舎建設に伴い、消防計画の見直しを検討する。 学内における安全管理体制では、24時間体制のセキュリティーサービスを警備会社に委託している。事故防止についてマニュアルを整備し、安全管理体制の維持向上に努めている。	新校舎建設に伴い、消防計画の見直しを検討する必要がある。

最終更新日付	平成31年2月5日	記載責任者	富永 忠雅
--------	-----------	-------	-------

## 基準 7 学生の募集と受入れ

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>高等学校と専修学校協会との連携を図りながら適切に行う方針である。</p> <p>入学試験に関する規程を定め、学生募集要項に選考方法等を明記し適切に運用する。入学試験における面接試験は、受験者の適性や、職業理解などを複数の担当で多角的に判断している。本年度よりWeb出願システムを導入し、正確かつ迅速に出願できるような体制を構築した。</p> <p>平成 32 年度に看護科の入学定員を 40 名から 80 名に変更計画中である。この変更に合わせて、学納金を他科と同様の水準に変更する予定である。</p> <p>進路変更等、入学辞退者に対する授業料返戻の取扱いについては、学生募集要項に明記し、入学辞退者に対して適正に対応している。</p>	<p>本年度よりWeb出願システムを導入し、適切かつ迅速に出願できるような体制を構築した。</p> <p>平成 32 年度より、看護科の入学定員を 40 名から 80 名に変更する計画である。</p>

最終更新日付	平成 31 年 3 月 29 日	記載責任者	滝沢 哲也
--------	------------------	-------	-------

## 7-25 学生募集活動は、適正に行われているか

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	職業理解を重視して高等学校等に情報提供を行う方針である。	<p>進学相談会、オープンキャンパス、出前講義などで、職業理解を促すために、各医療系国家資格について詳細な説明を実施している。パンフレットやホームページにおいても資格の概要や沿革等、多くのページに掲載している。</p> <p>職業理解のための冊子を作成し、出前講義などで使用している。</p>	本校単独開催の出前講義に加え、広報業者等が主催する進学相談会を利用し、各高校内で体験授業等を中心としたイベントに積極的に参加して情報提供の充実が必要である。	学校案内パンフレット 学生募集要項 医療資格テキストブック 出前講義案内パンフレット 本校ホームページ
7-25-2 学生募集活動を適切かつ効果的に行っているか	<p>学生募集活動は、高等学校の理解と専修学校協会との連携を図りながら適切に行う方針である。</p> <p>さらに受験者の出願手続きの簡略化や遠隔地域の受験者の負担軽減に取り組む方針である。</p>	<p>平成30年度よりweb出願システムを導入し、適切かつ迅速に出願できるよう配慮している。</p> <p>遠隔地域の受験生に対応するため県外入試(宮崎・鹿児島)を実施した。</p>	<p>高校生の進路決定が早期化しているため、4～6月のオープンキャンパスや学校説明会の開催を増やして対応していく必要がある。</p> <p>学校情報収集についてはペーパーレス化が進んでおり、資料請求等を行わない受験生が増加している。このためホームページの拡充をさらに進める必要がある。</p>	学校案内パンフレット 学生募集要項 医療資格テキストブック 本校ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>高等学校と専修学校協会との連携を図りながら適切に行う方針である。 職業理解についてオープンキャンパスや出前講義等を利用し取り組んでいる。</p>	<p>本年度よりWeb出願システムを導入し、適切かつ迅速に出願できるような体制を構築した。</p>

最終更新日付	平成31年2月8日	記載責任者	中村 秀樹
--------	-----------	-------	-------

## 7-26 入学選考

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	入学試験に関する規程を定め、学生募集要項に選考方法等を明記し適切に運用する。	入学試験に関する規程は学生募集要項に明確に記載している。 入学試験における面接試験は、受験者の学習意欲、コミュニケーション能力、職業理解などを複数の担当で多角的に判断している。 合否判定会議を行い公正な判定を行っている。	平成 32 年度に看護科の入学定員を 40 名から 80 名に変更計画中である。 入学者を確保するため、AO 入試、推薦入試の選考方法等を見直すことが課題である。	学校案内パンフレット 学生募集要項 入学試験に関する規程
7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	入学選考に関する実績等の情報を正確に把握・記録し、適切な方法で保管する。 毎年、受験生の動向を分析して、中・長期的な学校運営の指針に活用する。 中途退学者の入学選考資料を参考にし、授業改善に活用する。	入学選考に関する情報は個人情報であるため、取扱については専門部署を設置して適切に把握・管理している。	中途退学者の入学選考資料を参考にし、授業改善に活用する。	入学試験に関する規程 入学選考資料 学校案内パンフレット 募集要項 個人情報保護規定

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入学試験における面接試験は、受験者の適性や、職業理解などを複数の担当で多角的に判断している。	平成 32 年度に看護科の入学定員を 40 名から 80 名に変更計画中である。

最終更新日付	平成 31 年 2 月 8 日	記載責任者	中村 秀樹
--------	-----------------	-------	-------

## 7-27 学納金

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	学納金は教育内容にふさわしい、適切な水準に定めることを方針とする。また、年間諸経費を明記して、入学者が卒業までに必要な経費をすべて明示する。	今年度は、平成 31 年に予定されている消費税 10%増税に備え、学納金の算定を行った。	平成 32 年、看護科の学納金を他科と同様の金額にする。	学生募集要項 学校案内パンフレット 本校ホームページ 看護科収支予算及び向こう 2 年間の財政計画
7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱いを行っているか	入学辞退者に対する授業料等の取扱いは、平成 18 年度文部科学省通知の趣旨に沿って適正に対応している。	進路変更等、入学辞退者に対する授業料返戻の取扱いについては、学生募集要項に明記し、入学辞退者に対して適正に対応している。	入学辞退者に対する授業料等の取扱いについては、オープンキャンパスなどで繰り返し説明していく。	学生募集要項

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
今年度は、平成 31 年に予定されている消費税 10%増税に備え、学納金の算定を行った。また、進路変更等、入学辞退者に対する授業料返戻の取扱いについては、学生募集要項に明記し、入学辞退者に対して適正に対応している。	平成 32 年看護科入学定員増員に伴い、学納金を他科と同じにする。

最終更新日付	平成 31 年 2 月 8 日	記載責任者	中村 秀樹
--------	-----------------	-------	-------



## 基準 8 財務

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>中長期的に安定した財務基盤を構築するため、全教職員で入学者の確保に取り組んでいる。文部科学省が公表している財務・経営状況比率表のうち、同系統学部を有する大学の全国平均値と比較検討を行い、財務・経営の問題点を早期に発見し対策を講じている。</p> <p>私立学校法及び寄附行為に基づき、学校法人の業務及び財産の状況の監査を実施した。監査の結果は、理事会、評議員会に適切に報告され、監査報告書を学校のホームページに公開している。監事には、運営会議及び教職員会議に出席していただき、学校活動に関する幅広い情報の提供に努めている。</p> <p>私立学校法に基づく財務情報公開をホームページで積極的に公開している。本年度は、事業報告書に3年間の計算書類の掲示比較を掲載する等、関係者に分かりやすいように努めた。</p>	<p>平成 31 年度より柔道整復科Ⅲ部の募集を停止し、柔道整復科Ⅰ部及び診療放射線科の入学定員それぞれ 60 名、50 名に削減する。また、平成 32 年度より看護科の入学定員を 80 名に増員する。入学定員充足率を高めると同時に、適切な教職員数を維持して、人件費依存率及び経常経費の適切な管理に努めていく必要がある。</p> <p>平成 31 年 1 月に、学校法人制度の改善方策に関する提言及び監事の職務機能の強化を含む学校法人制度の改善方策に関する提言が文部科学省より出ており、本学としても対応していく必要がある。</p>

最終更新日付	平成 31 年 3 月 29 日	記載責任者	滝沢 哲也
--------	------------------	-------	-------

## 8-28 財務基盤

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	中長期的に安定した財務基盤を構築するため、全教職員で入学者の確保に取り組む。	専門職大学設置認可申請を取下げ、平成30年10月より専門学校としての学生募集を再開した。 柔道整復科及び診療放射線科の入学定員を削減し、定員充足率を高めながら、優秀な入学生の確保に取り組んでいる。	専門学校の学生募集開始が10月からと遅れることになり、一部学科の募集に影響が出ている。 オープンキャンパスや入試を追加で行う等、学生募集活動を強化する。	過去3年間の計算書類 平成30年度予算 学生確保の見通しと学生確保に向けた取組を記載した書類 平成30年度事業計画書 学校案内パンフレット 本校ホームページ 平成31年度学生募集要項
8-28-2 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	文部科学省が公表している財務・経営状況比率表と比較しながら、本学運営に係る財務分析を実施し、適切な財務管理を行う。	文部科学省が公表している財務・経営状況比率表のうち、同系統学部を有する大学の全国平均値と比較して、分析を行った。	同系統学部を有する大学の全国平均値と比較した結果、本学の財務指標は概ね良好であることが判明した。 学科の定員変更に伴い、適切な教職員数を維持して、人件費依存率及び経常経費依存率が大幅に上昇しないように努める。	過去3年間の計算書類 平成30年度予算 財務比率表 平成30年度事業計画書 平成31年度学生募集要項

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
中長期的に安定した財務基盤を構築するため、全教職員で入学者の確保に取り組んでいる。 文部科学省が公表している財務・経営状況比率表のうち、同系統学部を有する大学の全国平均値と比較検討を行い、財務・経営の問題点を早期に発見し対策を講じる。	平成31年度より柔道整復科Ⅲ部の募集を停止し、柔道整復科Ⅰ部及び診療放射線科の入学定員それぞれ60名、50名に削減する。また、平成32年度より看護科の入学定員を80名に増員する。 入学定員充足率を高めると同時に、適切な教職員数を維持して、人件費依存率及び経常経費の適切な管理に努めていく必要がある。

最終更新日付	平成31年2月1日	記載責任者	滝沢 裕子
--------	-----------	-------	-------

## 8-29 予算・収支計画

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算・中期計画を策定しているか	単年度予算・計画及び中期予算・計画を策定し、専門学校として適切な学校運営を行う方針である。	予算及び計画は、評議員会での検討・検証を経て、理事会で決定している。 専門職大学の設置認可申請を取下げたことにより、中期計画の変更に着手した。	看護科の入学定員を平成 32 年度より増員することを理事会で決定した。中期計画を早急に見直す。	平成 30 年度予算書 平成 34 年度までの財政計画経費の見積もり及び資金計画を記載した書類 看護科の定員を増加した後の 2 年間の収支計画 理事会議事録 評議員会議事録 平成 30 年度事業計画書
8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	予算と決算の対比表を作成し、理事会・評議員会に報告、適切な執行に努めることを方針とする。	理事会、評議員会に予算と決算数値の対比を報告している。 平成 30 年度は、会計監査法人による会計監査を開始する等、大学設置基準に適合した学校法人としての管理体制を構築することに努めた。	私立学校振興助成法の規程に基づく公認会計士監査を開始して、適正な管理執行体制を構築する。	過去 3 年間の損益計算書 平成 30 年度予算書 理事会議事録 評議員会議事録 経費の見積もり及び資金計画を記載した書類 平成 30 年度事業計画書 公認会計士による監査報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
平成 34 年度までの「財政計画及び経費の見積もり」及び「資金計画を記載した書類」を作成して、予算の適正な執行と管理に努めていたが、専門職大学設置認可申請の取下げ、並びに専門学校看護科の定員増に伴い、中期予算・計画の見直しを行う。	平成 31 年度より柔道整復科Ⅲ部の募集を停止し、柔道整復科Ⅰ部及び診療放射線科の入学定員それぞれ 60 名、50 名に削減する。また、平成 32 年度より看護科の入学定員を 80 名に増員する。

最終更新日付	平成 31 年 2 月 1 日	記載責任者	滝沢 裕子
--------	-----------------	-------	-------

## 8-30 監査

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	私立学校法及び寄附行為に基づく監事による監査を実施する。	理事会だけでなく、運営会議及び教職員会議にも監事に出席していただいている。 学校業務に対する情報提供を充実させ、適切な監査体制を構築するよう努めている。 自己点検・自己評価委員会に監事に出席していただいた。	監事に対して、学生募集に関わる計画等、法人経営の重要な要素となる最新の情報を提供することが課題である。	寄附行為 監査報告書 教職員会議議事録 運営会議議事録 自己点検・自己評価委員会議事録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
私立学校法及び寄附行為に基づき、学校法人の業務及び財産の状況の監査が行われている。監査の結果は、理事会、評議員会に適切に報告されている。 監査報告書は学校のホームページに公開している。監事には、運営会議及び教職員会議に出席していただき、学校活動に関する幅広い情報の提供を行っている。	平成 31 年 1 月に、学校法人制度の改善方策に関する提言が文部科学省より出ており、監事の職務機能の強化が求められている。

最終更新日付	平成 31 年 2 月 1 日	記載責任者	滝沢 裕子
--------	-----------------	-------	-------

## 8-31 財務情報の公開

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-31-1 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	私立学校法に基づく財務情報公開を行う。	<p>計算書類をホームページに掲載する等、財務情報の積極的な公開に取り組んでいる。</p> <p>事業報告書に3年間の計算書類の経年比較を掲載した。</p> <p>公認会計士協会の記載例に従い、監査報告書の文言を一部修正した。</p>	<p>事業報告書に記載する「財務の概要」の記載内容をより充実させていくことを検討している。</p>	<p>本校ホームページ</p> <p>財務書類（事業報告書、資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表、財産目録）</p> <p>事業報告書</p> <p>監査報告書</p> <p>情報公開規程</p>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>私立学校法に基づく財務情報公開をホームページで積極的に公開している。事業報告書に3年間の計算書類の掲示比較を掲載し、より分かりやすい情報公開に努めた。</p>	<p>平成31年1月に、学校法人制度の改善方策に関する提言が文部科学省より出ており、本学としても積極的な情報公開の推進に努めていく必要がある。</p>

最終更新日付	平成31年2月1日	記載責任者	滝沢 裕子
--------	-----------	-------	-------

## 基準 9 法令等の遵守

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>関係法令及び設置基準を遵守し、適切な運営を実行する。入職時にはコンプライアンスに関する資料を用いて指導し、教職員会議において周知徹底を図っている。</p> <p>個人情報保護に関しては、関係法及び規程に基づき、適正・的確に運用する。教職員に対しては、個人情報の取扱いに規程を整備して、十分に注意するよう指導を行う。</p> <p>全教職員参加型で自己点検・自己評価を実施している。その結果を文部科学省ガイドライン準拠した評価報告書にまとめ、学校ホームページに公表している。また、学校評価実施規程に基づき、学校評価委員を選任して、学校評価を実施している。その評価結果も学校運営に活かしている。</p> <p>職業実践専門課程基本情報様式 4 を本校のホームページに掲載し、教育情報の積極的な公表を行っている。</p>	<p>ウイルス感染、サイバー攻撃、SNS をとおした情報漏洩等への対応策が課題になっている。インターネットに精通した教職員の養成が急務である。</p>

最終更新日付

平成 31 年 3 月 29 日

記載責任者

滝沢 哲也

## 9-32 関係法令、設置基準等の遵守

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	関係法令及び設置基準を遵守し、適切な運営を実行する。また、教職員がコンプライアンスを認識できるよう必要な研修等を実施する。	学校運営を適正、適切に行うために設置基準を遵守して業務を行っている。関係法令・諸規則を整備し、教職員会議において周知徹底を図り指導を行っている。また、入職時にはコンプライアンスに関する資料を用いて指導を行っている。	セクシュアルハラスメントを起こさないように、教職員及び学生に対し適宜指導を行っている。外部研修やFD・SD研修において理解向上へ努める。	許可・届出書類 学則 学生要覧 教職員会議議事録 入職オリエンテーション資料 FD・SD研修会抄録

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
関係法令および設置基準を遵守し、適切な運営を実行する。また、教職員に対し、教職員会議において周知徹底図り指導を行い、入職時にはコンプライアンスに関する資料を用いて指導している。	特になし。

最終更新日付	平成31年1月31日	記載責任者	小磯 嘉貴
--------	------------	-------	-------

## 9-33 個人情報保護

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	学校が保有する個人情報は、関係法令等に従い個人情報保護規程を定めて適切に運用している。また、情報漏洩、プライバシー保護等の対策を整えている。	個人情報に関する取扱いは、個人情報保護規程に基づき適切に運用している。また、教職員が取扱う個人情報に関しても、コンピューター使用ルール、ウイルス感染等の防止対策、守秘義務規程を設け周知徹底を図っている。	中途入職者に対する個人情報の取扱いを徹底する必要がある。	個人情報保護規程 コンピューター使用ルール ウイルス感染等の防止について 学校関係者評価における守秘義務に関する規程 臨床実習要綱

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
個人情報保護法に基づき、適正・的確に運用している。教職員に対して、個人情報の取扱いに規程を設け十分に注意するよう指導を行っている。個人情報保護に関する意識の維持、向上に努めている。	ウイルス感染、サイバー攻撃、SNS をとおした情報漏洩等に関して、個人情報管理に関する啓発、教育を継続する。

最終更新日付	平成 31 年 1 月 31 日	記載責任者	小儀 嘉貴
--------	------------------	-------	-------



## 9-34 学校評価

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	適切な学校運営を推奨するために学校評価実施規程を定め、その規程に沿って自己点検・自己評価を実施する。	自己点検・自己評価委員会を設置し、全教職員参加型で自己点検を実施している。その評価結果を学校運営に活かしている。	自己点検・自己評価の結果を踏まえて、評価項目を新たに見直しが必要な部分がある。自己点検・自己評価のあり方を検討する。	学則 自己点検・自己評価表 学校評価実施規程 学校評価委員会議事録
9-34-2 自己評価結果を公表しているか	自己点検・自己評価結果は報告書にまとめ、関係法令に基づき学校ホームページに掲載し公表する。	文部科学省ガイドライン準拠の評価報告書に取りまとめ、本校ホームページに公表している。	自己点検・自己評価報告書に関係者がみても理解しやすいように記述方法を見直すことを検討する。	本校ホームページ 平成 29 年度自己点検・自己評価報告書
9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	学校教育法及び専修学校における学校評価ガイドラインに基づき、学校評価委員会を設置し学校評価を実施する。	学校評価実施規程に基づき、学校関係者評価委員会を設置し、学校評価を実施し評価結果を学校運営に活かしている。	学校関係者評価委員への更なる理解を深めてもらうために情報提供の拡充を図ることが課題である。	学校評価実施規程 学校評価委員会議事録 本校ホームページ
9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	学校教育法及び専修学校における学校計画ガイドラインに基づき実施した結果をまとめ、適宜、適切に公表している。	文部科学省ガイドライン準拠の評価報告書に取りまとめ、本校ホームページにて公表している。	学校関係者評価報告書に関係者がみても理解しやすいように記述方法を見直すことを検討する。	学校評価実施規程 本校ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
全教職員参加型で自己点検・自己評価を実施している。その結果を文部科学省ガイドライン準拠における評価報告書にまとめ、学校ホームページに公表している。また、学校評価実施規程に基づき、学校評価委員会を選任し学校評価を実施している。その評価結果を学校運営に活かしている。	特になし。

最終更新日付

平成 31 年 1 月 31 日

記載責任者

小磯 嘉貴

## 9-35 教育情報の公開

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	情報公開の義務を果たすため、在校生、卒業生、保護者及び学校関係者に対して、積極的に教育情報提供を行い教育活動の質の向上を目指す。	職業実践専門課程基本情報様式 4 を本校ホームページに掲載し、教育情報の公表を行っている。	インターネットによる情報収集が当たり前の現況において、専門性の知識を有する教職員の養成、若しくは IT 部門の整備が必要である。	学校案内パンフレット 本校ホームページ(職業実践専門課程基本情報様式 4 自己点検・自己評価報告書) スマートフォン用学校ホームページ

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
職業実践専門課程基本情報様式 4 を本校のホームページに掲載し、教育情報の積極的な公表を行っている。	インターネットに精通した教職員の養成が急務である。

最終更新日付	平成 31 年 1 月 31 日	記載責任者	小儀 嘉貴
--------	------------------	-------	-------

## 基準 10 社会貢献・地域貢献

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校が行う社会貢献の一つとして、各種団体に本校施設・設備等を開放し、地域社会活動を支援している。これらの活動を通じて、地域社会や地域企業との連携を深めている。また、本校の教員や学生を積極的に高等学校等に派遣し、出前授業等を実施することにより、職業教育・キャリア教育に協力している。</p> <p>スポーツ大会などの救護活動やトレーナー活動、介護福祉施設でのボランティア活動などに学生を参加させている。これらの活動をとおして、医療専門職、医療従事者としての自覚を促し、社会性を育んでいる。</p>	<p>平成 30 年 5 月、糸島市と健康増進、福祉、地域振興などに取り組む包括連携・協力協定を結んだ。本校が有する専門的知見を地域の健康増進に活用する。本年度は「テーピング講座」、「つぼ講座」などを糸島市内の公民館等で開催した。</p>

最終更新日付	平成 31 年 3 月 29 日	記載責任者	滝沢 哲也
--------	------------------	-------	-------

## 10-36 社会貢献・地域貢献

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	医療関係だけでなく、種々の分野の団体に施設・設備等を開放し、地域の各種団体と連携・社会貢献を目指す。	各種団体や近隣の高校などに本校の施設・設備を開放している。また、高等学校や地域の公民館等に本校の教員を派遣し、出前授業や講座を実施している。 本年度より糸島市と健康増進、福祉、地域振興などに取り組む包括連携・協力協定を結び、地域への貢献・連携を深めている。	SNS を活用した施設利用の広報活動を検討する必要がある。 本校が有する専門的知見を地域の健康増進に活用すべく種々の講座を企画する。	施設利用スケジュール表 施設利用願 施設利用規定 出前トレーナー報告書 糸島市と学校法人福岡医療学院福岡医療専門学校との連携・協力に関する協定書 糸島市連携関連文書
10-36-2 国際交流に取り組んでいるか	国際社会のグローバル化に伴い、海外教育機関で研修を行い、学生が国際的な感覚を身につけられるようにする。	来年度よりこれまでの台湾研修、ハワイ研修に加え、オーストラリア研修でホームステイを予定している。	海外教育機関との交流、情報交換や海外留学生の受け入れ基準の策定等の検討が課題である。	30年度台湾研修報告書 30年度ハワイ研修報告書 オーストラリア研修企画書

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校の社会貢献の一つとして、各種団体に施設・設備等を開放し、地域を中心に連携を深めている。今後も地域のニーズに基づいた講座を企画するとともに、双方向性の情報交換、連携などを充実させていく。また、本校の教員や学生を積極的に高等学校等に派遣し、出前授業などを通じて職業教育・キャリア教育に積極的に協力している。	平成30年5月より糸島市と健康増進、福祉、地域振興などに取り組む包括連携・協力協定を結んだ。本校が有する専門的知見を地域の健康増進に活用し、「テーピング講座」、「つぼ講座」などを開催している。

最終更新日付	平成31年 2月5日	記載責任者	富永 忠雅
--------	------------	-------	-------

## 10-37 ボランティア活動

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	各種ボランティア活動へ学生を参加させ、医療従事者としての自覚を促すことを目標とする。	<p>スポーツ大会などの救護活動やトレーナー活動の補助、介護福祉施設での催し物に参加させ、社会性を育んでいる。</p> <p>昨年に引き続き、福岡県赤十字血液センターに協力し、献血活動を行っている。</p> <p>本年度より新たに福岡マラソンの医療救護ボランティア活動に参加した。</p>	より多くの学生がボランティアに参加してもらえるように、地域との交流を深め、ボランティア活動の普及を行う。	<p>救護・トレーナー活動集計 献血結果報告書(福岡県赤十字血液センター)</p> <p>福岡マラソン2018大会報告書</p>

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>スポーツ大会などの救護活動やトレーナー活動、介護福祉施設でのボランティア活動などに参加させている。これらの活動をとおして、医療専門職、医療従事者としての自覚を促し、社会性を育んでいる。</p> <p>今後は、多くの学生にボランティア活動に参加するよう普及啓発を行う。</p>	糸島市との連携によって、ボランティア活動についての単位修得を検討する。

最終更新日付

平成31年 2月5日

記載責任者

富永 忠雅